

閉会挨拶

京都大学経営管理大学院 院長 若林 靖永 氏

それでは、主催者を代表して閉会の挨拶をさせていただきます。

京都大学経営管理大学院は 2006 年にできまして、今年度 10 周年になります。その中で多くの寄付講座を作り、新しい研究・教育・社会への関わりということに取り組んでまいりました。その一つとして、約 3 年前、2014 年の 4 月から光亜興産様の寄付で官民協働まちづくり実践講座という寄付講座を開設し、全国各地のエリアマネジメントの取り組みを調査し研究し、横のネットワークを作り、エリマネで活躍する人材育成等のあり方等も考えていくというプログラムをスタートさせていただきました。昨日、今日の 2 日間にわたるエリアマネジメントシンポジウム 2017 in KANSAI はこの寄付講座 3 年間のエリアマネジメントに関わる取り組みの一つの集大成、取りまとめとして開催されたものであり、多くの方が参加していただいたことに大変感謝しております。またこれまでも、エリアマネジメントに取り組まれる中での実践、挑戦、悩みなどを共有しながら各地でエリアマネジメントのシンポジウムを進めてまいりましたが、今回、その各地でご登壇いただいた方々にも数多く参加して頂いております。大変感謝を申し上げます。

また、その中で、全国エリアマネジメントネットワークという組織を、お手伝いしながら作っていくことができました。全国エリアマネジメントネットワーク、そして梅田地区エリアマネジメント実践連絡会とともにこの集大成のシンポジウムを京都で開催できたこと、そしてそれに関連して、小笠原京都副市長のご来賓等京都市の多大なるご協力をいただいていること、長谷会長をはじめ烏丸通まちづくり協議会の皆様にこのシンポジウムの準備運営に大きくご協力いただきましたことも感謝申し上げます。

本日はグループディスカッションということで進めた訳ですが、その取りまとめということで、小林重敬先生、青山公三先生にも大変お世話になりました。その他ご登壇された方など、多くの方の参加によってこのシンポジウム、立派なとても良いものになったと思います。全国各地の地域の魅力を活かし、地域の今後の持続的な発展を考えていくにあたって、エリアマネジメントはますます重要なアプローチ、重要な課題であると認識しています。

この寄附講座も 3 年で一区切りでございますが、引き続き京都大学経営管理大学院もこのエリアマネジメントの全国各地での発展に寄与できるように頑張りたいと思います。

以上をもちまして閉会の挨拶とさせていただきます。皆様、どうもありがとうございました。